入賞者全員で記念撮影

共に助け合い、災害から地域と人を守ろう

# 学校防災「合言葉」コンクール 小・中学生13人を表彰

最優秀賞を受け取る馬場さん

市教育委員会が主催した第６回学校防災「合言葉」コンクールの優秀作品表彰式が12月10日、市役所で行われ、「こえがけは、いのちを守るたすけあい」で最優秀賞となった前谷地小学校３年の馬場祐杏（ゆあ）さんら小・中学生13人を表彰しました。最優秀賞をはじめ、優秀賞２人、優良賞２人、佳作８人に亀山紘市長、境直彦教育長らが表彰状を手渡しました。亀山市長は「皆さん一人一人が地域の一員として、防災に協力してという強い気持ちが伝わってきます」と称賛しました。コンクールには、市内の全小・中学校と市桜坂高から計2693点の応募がありました。入賞作品は市報に随時掲載するほか、さまざまな場面を活用し、市民の防災意識の高揚に役立てることにしています。

| 賞 | 合言葉 | 氏名 | 性別 | 学校名 | 学年 |
|---|---|---|---|---|---|
| 最優秀 | こえがけは、いのちを守る　たすけあい | 馬場　祐杏（ばば　ゆあ） | 女 | 前谷地小学校 | 3 |
| 優秀 | 「ひなんして！」いのちのリレー　つなげよう | 齋藤　友心（さいとう　ゆうしん） | 男 | 和渕小学校 | 1 |
| 優秀 | 声かけろ　あなたの言葉が　防災無線 | 髙橋　海羽（たかはし　みう） | 女 | 向陽小学校 | 4 |
| 優良 | たかだいへ　いそげと　みんなで　こえかけて | 安住　優希（あずみ　ゆき） | 女 | 万石浦小学校 | 1 |
| 優良 | 「逃げましょう」近所に声がけ　心がけ | 千葉　柊人（ちば　しゅうと） | 男 | 稲井小学校 | 6 |
| 佳作 | 逃げ遅れ　一人もいない　わたしの地域 | 髙橋　美心（たかはし　みみ） | 女 | 石巻中学校 | 3 |
| 佳作 | 災害で　大声出して　すぐ避難　あなたは地域の　救世主 | 山口　葵（やまぐち　あおい） | 女 | 石巻中学校 | 1 |
| 佳作 | 逃げましょう　その一言が命を救う　協力の心　救われる命 | 加藤　望桃（かとう　のぞみ） | 女 | 河南東中学校 | 2 |
| 佳作 | 「おばちゃんも！」みんなで行ぐべ！　避難場所 | 鈴木　瑛斗（すずき　あきと） | 男 | 貞山小学校 | 1 |
| 佳作 | にげっぺし　一歩一声　その行動 | 黒木　綾香（くろき　あやか） | 女 | 住吉中学校 | 3 |
| 佳作 | 避難所へ　隣の家は　逃げたかな | 阿部　夢月（あべ　むつき） | 女 | 鹿又小学校 | 6 |
| 佳作 | 大きな声で　避難の指示を　自分のために　みんなのために | 遠藤　虹（えんどう　こう） | 女 | 石巻中学校 | 3 |
| 佳作 | 「津波」だと　呼び掛け避難　高台へ | 阿部　伊織（あべ　いおり） | 男 | 北上中学校 | 2 |

問　学校安全推進課（内線5082）

# 石巻市のNPOについて 第２回

このコーナーでの「NPO」とは、NPO法人のみならず、公益活動を行う社団法人、財団法人、ボランティアなどの任意団体も含みます。

NPO 団体は、社会や地域の課題を解決するため、それぞれの分野（まちの活性化、子育て支援、社会福祉など）で活動しています。各々の団体は特定の課題に対する専門性があり、ボランティアの協力や官民の助成金などを活用しながら、スピード感をもって課題に対応しています。

なるほど。
じゃ、石巻ではどんな団体が活躍しているのか教えてよ。

ロック（石）
市民活動に興味あり

「市民公益活動団体」として市に登録している団体数は156あり（H30.12月現在）、それぞれが特質的な活動をしているよ。
ここでは東日本大震災をキーワードに、被災者支援で立ち上げた団体と震災前から活動している団体の活動例を紹介しよう。

ロール（巻）
石巻市NPO支援オフィス相談員

## 東日本大震災

津波被害で多くの市民が車を失う（約６万台）

### 交通弱者を支援しているNPO

**震災直後**
県外から福祉車両を持ち込み、移動手段を失った人や障がいのある方への支援を行う。

**現　在**
高齢者や障がいのある方の移動を支援。複合的な課題を抱える利用者には、見守りや福祉機関への繋ぎの役割を果たしている。

### カーシェアリングを通じて人とのつながりを作るNPO

震災復旧から地域課題解決へ

**震災直後**
企業に車の寄付を募り、被災者に車を共同で使ってもらうカーシェアリングを、仮設住宅で行う。

**現　在**
復興住宅や移動に課題のある地域などでカーシェアリングを介したサークル活動の仕組みを作り、コミュニティ形成に携わっている。

### 障がい児を支援するNPO

震災を経て、活動の必要性を再認識

**震災前**
「どんなに重い障がいがあっても、地域でみんなと一緒に暮らせること」を目的に、18年前に設立。

**震災後**
活動拠点が被災し会の解散も考えたが、避難所での障がい児受け入れに地域差があることを知り、地域で障がい児と共生することの大切さを改めて実感し、活動を継続している。

### 震災を伝えるNPO

震災を経て、新たな取り組みへ

**震災前**
観光ボランティアガイドの団体として22年前に設立。

**震災後**
観光どころではなく休会も考えたが、多くの方から「被災地を案内してほしい」との要望を受け、防災意識を高め命を大切にしてもらう目的で、震災を伝えるガイドを始めた。現在は観光案内も再開している。

石巻のNPOは震災の影響もあり、成り立ちも活動もさまざまなんだね。もっとよく知りたいので、来月もよろしくね！

問　地域協働課（内線4237）